

レースペースの強さを見せた根本、スパ 24 時間で無事完走

2022 年 8 月 9 日

- Sponsors -



Thundercomm

FAV HOTEL

LOGI FLAG



Stilo

7/27～7/31(日)に根本が今年参戦するファナテック・GT ワールドチャレンジ・ヨーロッパの第 3 戦となるスパ 24 時間レース (TotalEnergies 24 hours of Spa) が開催された。

今シーズンは度重なる不運もあり GT ワールドチャレンジ・ヨーロッパでは思うような結果が出ていない根本。特に前戦のポール・リカルドでは決勝レースへの出走が叶わなかったこともあり、今大会にける想いも強い。また昨年は深夜に発生した車両トラブルによりリタイヤとなってしまったため、今シーズンはまずは完走を目標に戦った。

今年は欧州各地で記録的な猛暑となっているが、当週末は一転して“スparaしい”肌寒さの中で行われる一戦となった。



■スパシティパレードが復活

これまで新型コロナウイルスの感染拡大により中止されていた、スパ 24 時間では伝統行事となっているシティパレードが今大会では 2019 年以來 3 年ぶりに復活。スパ・フランコルシャン・サーキットからスパ中心街に向かう約 10km の公道を、我々 GT3 のみならずランボルギーニ・スーパー

発行 BORDERLESS LLC.
(合同会社ボーダーレス)
〒124-0022
東京都葛飾区奥戸 8-29-14
インセル葛飾 F 号室

- Sponsors -**Thundercomm****FAVHOTEL****LOGI FLAG**

トロフェオの車両や往年の GT1 マシンなど、計 100 台以上のレーシングカーが走行した。

スパの中心部に各車両が到着すると、ロワイヤル広場を中心に全車両が並べられ一般客向けの公開イベントが実施された。特設ステージではベルギー出身の著名ドライバーによるトークショーが実施されるなど、伝統あるレースならではのコンテンツで観客を楽しませた。

**■Qualify : 8th Silver**

現地時間 28 日 20 時 40 分、気温 22 度、路面温度 24.9 度というコンディションの中、決勝のスターティンググリッドを決する公式予選が行われた。GTWCE エンデュランスカップでは 3 名または 4 名のドライバーがそれぞれアタックし、記録したベストタイムの平均で決勝のスターティンググリッドが決定される。プロクラスは 3 名での参戦が義務付けられているためこのようなレギュレーションになっているが、このレースでは予選中の給油が認められていないため、4 名で参戦しているチームは予選 1 回分 (15 分) 多く燃料を搭載する必要がある。予選総合結果は平均タイムとなるため、4 名で参戦するチームは予選では若干不利な勝負となることもここでご紹介したい。予選で上位 20 位を獲得すると、その後ポールポジションが決定されるスーパーポールへ進出することとなる。根本が乗る 563 号車としてはこのスーパーポールへの進出が今回の第一目標となった。

発行 BORDERLESS LLC.
(合同会社ボーダーレス)
〒124-0022
東京都葛飾区奥戸 8-29-14
インセル葛飾 F 号室

- Sponsors -**Thundercomm****FAV**HOTEL
LOGI FLAG**Stilo**

この予選に挑む前に根本は練習走行の走り出しを担当していたが、今回の24時間に向けてエンジンやトランスミッション、ドライブシャフト等の駆動系をすべて新品に交換しているため、最初の数周は極端に攻めることをせずシステムチェックを行った。また練習走行2回目として行われるプレクオリファイでは右リアタイヤにパンクが発生。新品タイヤを投入した後に発生してしまったため、その後の走行では右リアだけ練習走行1回目で使用したタイヤを使用することになってしまった。一輪だけ使い古したタイヤを履いたことにより不自然なオーバーステアが随所で発生してしまうことになったため、正しいセットアップ変更が行えているかどうかの判断が非常に難しい状況での走行となってしまった。これにより予選では若干のデイスアドバンテージを抱えた状態で参戦することとなった。



肝心の予選では新品タイヤでの走行機会の少なさ、そしてパンクによりテストプログラムの変更を余儀なくされた影響もあり、4名すべてのドライバーが予選で苦戦することになる。目標はスーパーポール進出であったが、タイヤの作動ウィンドウを思うように掴めなかったことによるハードブレーキング時の挙動の不安定さやコーナー出口のトラクション不足などを練習走行から改善しきれず、ドライバー陣にも細かいミスが見受けられた。最終的には総合1位の車両から1.536秒遅れの総合32番手、シルバークラス8番手を獲得するにとどまり、悔いの残る結果となってしまった。決勝でのベースを考慮するとトラブルなく予選を迎えられていれば順当にトップ20位は獲得できていたと推測できることから、来年の挑戦に期待したい。

発行 BORDERLESS LLC.
(合同会社ボーダーレス)
〒124-0022
東京都葛飾区奥戸 8-29-14
インセル葛飾 F 号室

- Sponsors -



Thundercomm

FAVHOTEL

LOGI FLAG

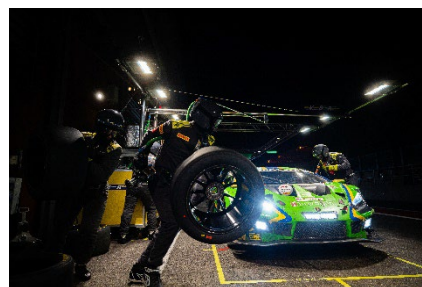
■Race : 8th Silver – 今大会はトラックリミットに注意が必要

第74回トタルエナジーズ・スパ24時間・レース、根本にとって2回目となる決勝。スタートはチームメイトのベレッタ選手が担当した。今回根本は主に夜間～明け方のスティントを担当予定だったため、スタート前から一度宿泊するホテルへ戻り仮眠を取るなど昨年以上に周到な準備を行った。昨年は参戦一年目ということもありスタートから数時間は興奮が覚めず中々眠れない状態が続いていたが、今年はその経験を踏まえ身体面・精神面のコントロールができるようトレーニングを重ねてきた結果、より余裕をもってレースに集中することができた。

今回563号車は基本的には全員1時間×2スティントというダブルスティントを中心とした戦略をとっており、スタートを担当したベレッタ選手はこれを順調にこなす。続いて担当した、今回のスパ24時間へ4人目のドライバーとして起用されたカロール・バッシュ選手の走行中に他車との接触が発生。Les Fagnes コーナーで7号車インセプション・レーシングと交錯し、左フロントを大きく破損してしまう。幸いにもダメージはエアロを中心としたもので、走行自体に大きな問題はなかったことからチームはピットインによる修復をせず継続して走行することを決めた。

もう一つこのレースのキーポイントとなっているのが、走路外走行によるタイムペナルティだ。昨年假導入された3Dカメラによる走路（ホワイトライン）確認システムが今年より本格導入。またコースマーシャルによる走路外走行の報告をいち早くドライバーに知らせるため、数秒のディレイはあるものの走路外走行をしたことを知らせる表示モニターが車内に設置されている。今大会では走路外走行を3回行くと次のピットストップ時に+5秒間静止するというタイムペナルティが課せられる。4回目で計10秒、5回目で計15秒と加算されていき、最大45秒間の静止が課せられる。それでも継続して違反をするとドライブスルーペナルティとなるため、今大会ではいかに走路外走行をせず、コンサバティブ且つ良いペースで走行するかが上位進出のカギとなった。

発行 BORDERLESS LLC.
(合同会社ボーダーレス)
〒124-0022
東京都葛飾区奥戸 8-29-14
インセル葛飾 F 号室



- Sponsors -



Thundercomm

FAVHOTEL

LOGI FLAG

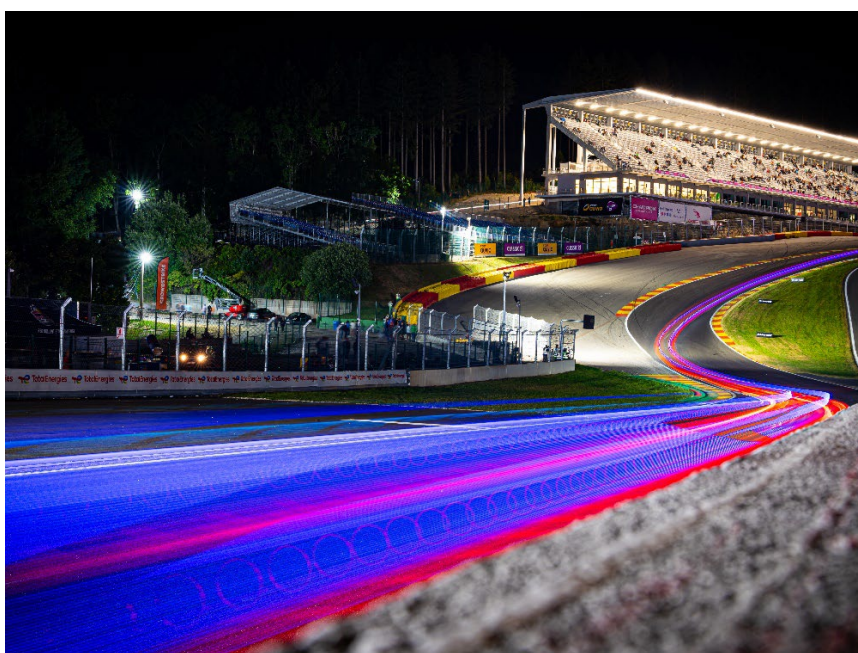


発行 BORDERLESS LLC.
(合同会社ボーダーレス)
〒124-0022
東京都葛飾区奥戸 8-29-14
インセル葛飾 F 号室

■ピットイン用の車内ライトに照らされながらの夜間走行

ベレッタ選手、バッシュ選手そしてハイツ選手3名のダブルスティントを経ていよいよ根本が走行開始。この時根本はいきなりの夜間走行となったため高い集中力と適応能力が試される状況だったが、ピットアウト後にも関わらず、車内を照らすライトが消えずオンの状態のままになるトラブルが発生。ステアリングラックの奥からドライバーを照らすLEDライトを含めかなりの明るさで照らされており、ドライバーの精神力を削ぎ落す結果となった。2時間のスティントを終え再びベレッタ選手へ交代するところでこのトラブルは解消し、引き続きレースを続けていく。

ここで根本は通常のプランでは3時間ほど睡眠を取り次のダブルスティントに備える予定だったが、トラックリミットのカウント数を考慮し監督が再び根本を投入することを決意。レースペースでの強さ、そしてトラックリミットを一切行わないコンサバティブな走りが評価され、ペナルティを回避するために再びダブルスティントをこなすことに。その後も他のドライバーへ長い休憩を与えつつスティントの繋ぐ役割を担った。



更にこのタイミングで車両セットアップに対する評価を行い、チーム側とコミュニケーションを取りながらレース後半に向けたセットアップ変更内容を決めていく。これは今大会が24時間というエンデュランスレースということもあり、全チーム最低一度は4分間のテクニカルストップを実施するというレギュレーションになっていることがポイントだ。

- Sponsors -



Thundercomm

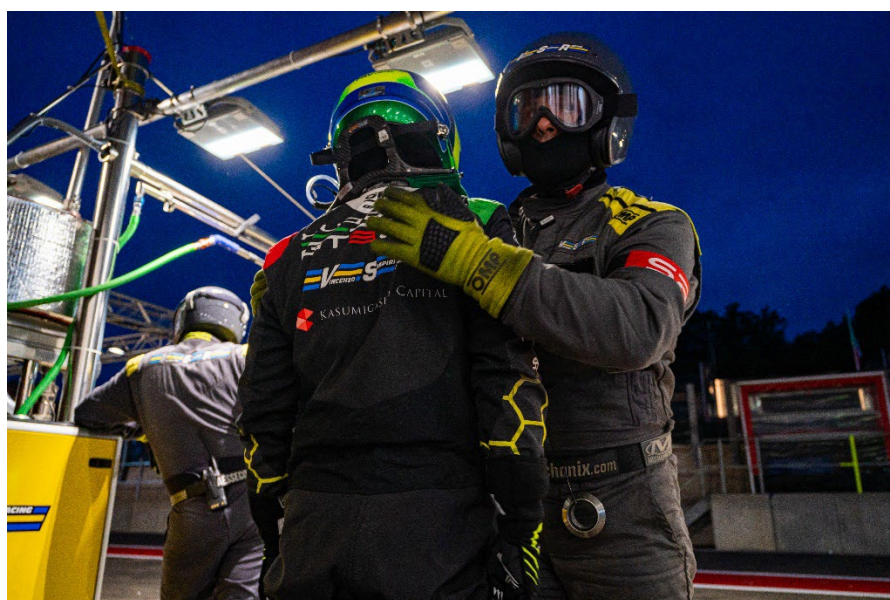
FAVHOTEL

LOGI FLAG



本来はブレーキディスク及びパッドの交換に時間を使うための時間だが、基本的なセットアップ変更であればこの時間内に行えるのである。これは当然チーム力が必要であり、メカニックによる日頃からの練習の賜物ということをご紹介しておく。

根本はここでリアの不安定さを指摘。フロントタイヤのグリップが高く、それにリアタイヤのグリップが付いてくることができず結果オーバーステアが発生してしまっていたのだ。チームはここでリアの車高を含む複数のセットアップを変更。これにより、後半はかなりバランスの取れた動きを手に入れることができた。根本のコメントによりセットアップの方向性、変更量が確定されることから非常に責任のある役割だったが、これを問題なくこなすことができたのは今後に向けた大きな自信に繋がった。



■レース後半にまさかの接触 トラブルも重なり順位を落とす

夜間走行を無事に終え順調に準備を上げていった 563 号車。一時は上位 20 番手に食い込むなどその力強さを存分に見せていたが、レース後半、根本の最後のスティント時に二度目の接触が発生してしまう。188 号車がレージ 59 がブランシモン手前で大クラッシュをしてしまったことで導入された FCY の際にピットインしここで上手く順位を上げることに成功。前方 4 番手を走る 90 号車マッドパンダ・モータースポーツを 3 台前方に置いてリスタートとなった。根本はニュータイヤでリスタートを切ったこともあり、順調に 2 台を 1 周目にオーバーテイクすることに成功。90 号車へのアタックを開始した。

発行 BORDERLESS LLC.
(合同会社ボーダーレス)
〒124-0022
東京都葛飾区奥戸 8-29-14
インセル葛飾 F 号室

- Sponsors -**Thundercomm****FAVHOTEL****LOGI FLAG****Stilo**

数周後方に留まりオーバーテイクのチャンスを伺うが、序盤に発生した接触によるエアロへのダメージの影響か、ストレートスピードが伸びずコーナーで追いつくも中々活路を見出せずにいた。根本はそれでもプレッシャーを与え続け、1コーナーでインに飛び込むことに成功。ブレーキング勝負でサイドバイサイドに持ち込むも、根本の位置を上手く把握できていなかったのか、必要以上にインサイドに切り込まれてしまい、接触。根本はここでサスペンションアームの一部を損傷。一度ピットインし、先のダメージと合わせて修復作業を行うことになった。当該インシデントについては90号車に責任があると裁定が下り、10秒のタイムペナルティが課せられた。裁定としては相手のミスだったと評価がされたが、ここで大きく順位を落とすこととなってしまった事実は変わらない。オーバーテイクに至った過程やブレーキング勝負の際のポジショニングなどを改めて振り返り今後につなげていく。

**■昨年の雪辱を晴らし無事完走、来年は文字通り優勝を狙う**

ゴール直前に電装系のマイナートラブルが発生しピットアウトできないというトラブルが発生し再びピットボックスに車両を入れることになってしまったが、こちらはすぐに原因を突き止め再スタート。その後はトラックリミット違反もなく順調に走行を続けたハイツ選手が無事チェッカーを受け、総合35位、シルバークラス8位で24時間レースの幕を閉じた。

発行 BORDERLESS LLC.
(合同会社ボーダーレス)
〒124-0022
東京都葛飾区奥戸 8-29-14
インセル葛飾 F 号室

- Sponsors -



Thundercomm

FAV HOTEL

LOGI FLAG



■根本コメント：

「昨年と比較して精神面・身体面で大きな進歩を感じた一戦でした。24時間レースは良い走りを見せることはもちろん必要ですが、走っていない時間にどう体を休めるか、チームをサポートするかも非常に重要だと考えています。その点で昨年以上にリラックスしてレースに臨めたこと、自分をしっかりコントロールして戦えたことは大きな進歩だったと思います。それにより各スティントにて安定した信頼感のあるパフォーマンスを発揮することができました」

「その一方でレース後半に発生した90号車との接触は不必要なリスクを取ってしまったと反省しています。現実的な目標として表彰台を目指していた中で、残り時間も考えてこのチャンスを逃す訳にはいかなかったと思う反面、相手にペナルティが出たとは言え事実上そこで我々の表彰台へのチャレンジは終わってしまったということでチームに申し訳ない気持ちでいっぱいです」

発行 BORDERLESS LLC.
(合同会社ボーダーレス)
〒124-0022
東京都葛飾区奥戸 8-29-14
インセル葛飾 F 号室

「GT3 にステップアップして初めての接触はあったものの、それ以外の場面では求められた仕事をしっかりこなすことができた週末だったと思います。レーススペースの強さ、セットアップ変更についてのコメントの正確性、そしてチームメンバーへのバックグラウンドでのサポート等々、良い戦い方ができたと思います」

- Sponsors -**Thundercomm****FAVHOTEL****LOGI FLAG**

「しかし改めて不必要な接触があったこと、目標であったスーパーポールを逃したこと、そして表彰台へ上がることができなかったことなど、やり残したことが非常に多く不完全燃焼で終わった週末でした。純粋なレーススペースでは総合トップ10位以内で戦うのは難しいものの、トップ20位そしてクラス表彰台まではしっかり見えていました。来年は今年やり残したことをしっかりやり切ることを目標に、そして“完全なミス0”を実現できるよう更に心身鍛え改めて挑戦します。」

「改めまして本年もこの伝統のスパ24時間レースへ参戦することができたことに感謝致します。ランボルギーニ・スクアドラ・コルセ、チームに良い参戦体制を組んでいただけたこと、そして今年も僕のチャレンジを応援して下さいっているスポンサー様、ファンの皆様に支えられてこの挑戦ができていたことを実感しております。今年は中盤まで非常に良い戦いを見せることができた一方で、リザルトとして皆様にお返しできなかったことが悔しく、申し訳ない気持ちでいっぱいです。来年はこの悔しさをバネに、より安定したレース運びを見せ優勝できるよう頑張ります」

「今年はJ SPORTS様やYouTube配信、その他SNSで沢山の方にご覧頂き、また応援コメントも数多く頂きました。改めまして感謝致します。今シーズンもGTWCEは残り2戦となりました。ここで圧倒的な速さを見せ皆様にまずは表彰台、そして優勝をご報告できるようチーム一丸となって頑張ります。引き続き根本悠生の応援を何卒宜しくお願い致します」



発行 BORDERLESS LLC.
(合同会社ボーダーレス)
〒124-0022
東京都葛飾区奥戸 8-29-14
インセル葛飾 F 号室

本件に関するお問い合わせは info@borderless-motorsports.com まで